

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【公表番号】特表 2015-503875 (P2015-503875A)
 【公表日】平成 27 年 2 月 2 日 (2015.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-007
 【出願番号】特願 2014-551423 (P2014-551423)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 52/02

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 18 日 (2015.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信インターフェースと、

前のオーバーヘッドメッセージに対応するセクタインジケータと、前記前のオーバーヘッドメッセージに対応する少なくとも 1 つのシーケンス番号とを備える非一時的な記憶媒体と、

前記通信インターフェースと前記記憶媒体とに結合された処理回路であって、

前記通信インターフェースを介して、それぞれ後続のオーバーヘッドメッセージに対応する後続のセクタインジケータと少なくとも 1 つの後続のシーケンス番号とを受信することであって、前記後続のセクタインジケータが、前記後続のオーバーヘッドメッセージを含む一般ページメッセージ中に少なくとも 1 つの予約済みビットの値を備える、受信することと、

前記後続のセクタインジケータの値が、前記記憶媒体に記憶された前記セクタインジケータの前記値と同じであるかどうかを判断することと、

前記少なくとも 1 つの後続のシーケンス番号が、前記記憶媒体に記憶された前記少なくとも 1 つのシーケンス番号と同じであるかどうかを判断することと、

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶媒体に記憶された前記セクタインジケータと同じであるとき、および前記少なくとも 1 つの後続のシーケンス番号が、前記記憶媒体に記憶された前記少なくとも 1 つのシーケンス番号と同じであるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを無視することと

を行うように構成された処理回路と

を備える、アクセス端末。

【請求項 2】

前記処理回路が、

前記後続のセクタインジケータが、前記非一時的な記憶媒体に記憶された前記セクタインジケータとは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを取得すること

を行うようにさらに構成された、請求項 1 に記載のアクセス端末。

【請求項 3】

前記処理回路が、

前記少なくとも 1 つの後続のシーケンス番号が、前記非一時的な記憶媒体に記憶された

前記少なくとも1つのシーケンス番号とは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを取得すること

を行うようにさらに構成された、請求項1に記載のアクセス端末。

【請求項4】

一般ページメッセージを処理する方法であって、

一般ページメッセージの少なくとも1つの予約済みビットの値として後続のセクタインジケータを含む前記一般ページメッセージを受信することと、

前記一般ページメッセージから、それぞれ後続のオーバーヘッドメッセージに対応する前記後続のセクタインジケータと少なくとも1つの後続のシーケンス番号とを取得することと、

前記後続のセクタインジケータが、記憶されたセクタインジケータと同じであるかどうかを判断することと、

前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号と同じであるかどうかを判断することと、

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶されたセクタインジケータと同じであるとき、および前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、前記少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号と同じであるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを無視することと

を備える、方法。

【請求項5】

前記後続のセクタインジケータと前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号とを取得するより前に、前記記憶されたセクタインジケータと前記少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号とを備える前のオーバーヘッドメッセージを受信することと、

前記記憶されたセクタインジケータと前記少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号とを記憶することと

をさらに備える、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記一般ページメッセージが前記後続のオーバーヘッドメッセージを備える、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶されたセクタインジケータと同じであるかどうかを判断することが、

前記後続のオーバーヘッドメッセージに対応する前記少なくとも1つの前記予約済みビットの値が、前のオーバーヘッドメッセージに対応する少なくとも1つの予約済みビットの記憶された値と同じであるかどうかを判断すること

を備える、請求項4に記載の方法。

【請求項8】

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶されたセクタインジケータとは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを受信すること

をさらに備える、請求項4に記載の方法。

【請求項9】

前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、前記少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号とは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを受信すること

をさらに備える、請求項4に記載の方法。

【請求項10】

一般ページメッセージの少なくとも1つの予約済みビットの値として後続のセクタインジケータを含む前記一般ページメッセージを受信するための手段と、

前記一般ページメッセージから、それぞれ後続のオーバーヘッドメッセージに対応する前記後続のセクタインジケータと少なくとも1つの後続のシーケンス番号とを取得するための手段と、

前記後続のセクタインジケータが、記憶されたセクタインジケータと同じであるかどうかを判断するための手段と、

前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号と同じであるかどうかを判断するための手段と、

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶されたセクタインジケータと同じであるとき、および前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、前記少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号と同じであるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを無視するための手段と

を備える、アクセス端末。

【請求項 11】

前記後続のセクタインジケータが、前記後続のオーバーヘッドメッセージに対応する少なくとも1つの予約済みビットの値を備え、

前記記憶されたセクタインジケータが、前のオーバーヘッドメッセージに対応する少なくとも1つの予約済みビットの値を備える、

請求項 10 に記載のアクセス端末。

【請求項 12】

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶されたセクタインジケータとは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを受信するための手段

をさらに備える、請求項 10 に記載のアクセス端末。

【請求項 13】

前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、前記少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号とは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを受信するための手段をさらに備える、請求項 10 に記載のアクセス端末。

【請求項 14】

コンピュータによって実行されると、

一般ページメッセージの少なくとも1つの予約済みビットの値として後続のセクタインジケータを含む前記一般ページメッセージを受信することと、

前記一般ページメッセージから、それぞれ後続のオーバーヘッドメッセージに対応する前記後続のセクタインジケータと少なくとも1つの後続のシーケンス番号とを取得することと、

前記後続のセクタインジケータが、記憶されたセクタインジケータと同じであるかどうかを判断することと、

前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号と同じであるかどうかを判断することと、

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶されたセクタインジケータと同じであるとき、および前記少なくとも1つの後続のシーケンス番号が、前記少なくとも1つの記憶されたシーケンス番号と同じであるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを無視することと

を行う命令を記憶した非一時的なコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 15】

前記後続のセクタインジケータが、前記後続のオーバーヘッドメッセージに対応する少なくとも1つの予約済みビットの値を備え、

前記記憶されたセクタインジケータが、前のオーバーヘッドメッセージに対応する少なくとも1つの予約済みビットの値を備える、請求項 14 に記載の 非一時的なコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 16】

コンピュータに、

前記後続のセクタインジケータが、前記記憶されたセクタインジケータとは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを受信すること

を行わせるためのプログラミングをさらに備える、請求項 14 に記載の 非一時的なコン

コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 17】

コンピュータに、

前記少なくとも 1 つの後続のシーケンス番号が、前記記憶媒体に記憶された前記少なくとも 1 つのシーケンス番号とは異なるとき、前記後続のオーバーヘッドメッセージを受信すること

を行わせるためのプログラミングをさらに備える、請求項 14 に記載の非一時的なコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 18】

通信インターフェースと、

一般ページメッセージ動作を備える非一時的な記憶媒体と、

前記通信インターフェースと前記非一時的な記憶媒体とに結合された処理回路であって

、
一般ページメッセージを別のセクタに関連するメッセージと区別するように構成されたセクタインジケータを含む前記一般ページメッセージを生成することであって、前記セクタインジケータが、前記一般ページメッセージ中に少なくとも 1 つの非割当ての予約済みビットの値を備える、生成することと、

前記通信インターフェースを介して前記一般ページメッセージを送信することと
を備える前記一般ページメッセージ動作を行うように構成された処理回路と
を備える、ネットワークノード。

【請求項 19】

前記セクタインジケータの前記値が、前記一般ページメッセージを別のセクタに関連するメッセージと区別するように構成された、請求項 18 に記載のネットワークノード。

【請求項 20】

前記一般ページメッセージが、1 つまたは複数の対応するシーケンス番号を備えるオーバーヘッドメッセージを含む、請求項 18 に記載のネットワークノード。

【請求項 21】

前記処理回路が、

パイロット上で前記一般ページメッセージを送信することであって、前記パイロットが、前記別のセクタによって採用されるパイロットと同じパイロットである、送信することを備える前記一般ページメッセージ動作を行うように構成された、請求項 18 に記載のネットワークノード。

【請求項 22】

前記処理回路が、

前記一般ページメッセージが生成される前に、前記別のセクタが同じパイロットを採用すると判断すること

を備える前記一般ページメッセージ動作を行うように構成された、請求項 21 に記載のネットワークノード。

【請求項 23】

ネットワークノードにおいて一般ページメッセージを処理する方法であって、

一般ページメッセージを別のセクタに関連するメッセージと区別するように構成されたセクタインジケータを備える前記一般ページメッセージを生成することであって、前記セクタインジケータが、前記一般ページメッセージ中に少なくとも 1 つの非割当ての予約済みビットの値を備える、生成することと、

前記一般ページメッセージを送信することと
を備える、方法。

【請求項 24】

前記セクタインジケータの前記値が、前記一般ページメッセージを別のセクタに関連するメッセージと区別する、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 25】

前記一般ページメッセージが、1つまたは複数の対応するシーケンス番号をもつオーバーヘッドメッセージを備える、請求項23に記載の方法。

【請求項26】

前記一般ページメッセージを送信することが、パイロット上で前記一般ページメッセージを送信することであって、前記パイロットが、前記別のセクタによって採用されるパイロットと同じパイロットである、送信することを備える、請求項23に記載の方法。

【請求項27】

前記一般ページメッセージを生成するより前に、前記別のセクタが同じパイロットを採用すると判断すること

をさらに備える、請求項26に記載の方法。

【請求項28】

一般ページメッセージを別のセクタに関連するメッセージと区別するように構成されたセクタインジケータを備える前記一般ページメッセージを生成するための手段であって、前記セクタインジケータが、前記一般ページメッセージ中に少なくとも1つの非割当ての予約済みビットの値を備える、生成するための手段と、

前記一般ページメッセージを送信するための手段と
を備える、ネットワークノード。

【請求項29】

前記セクタインジケータの前記値が、前記一般ページメッセージを別のセクタに関連するメッセージと区別するように構成された、請求項28に記載のネットワークノード。

【請求項30】

前記一般ページメッセージが、1つまたは複数の対応するシーケンス番号を備えるオーバーヘッドメッセージを備える、請求項28に記載のネットワークノード。